

2024年9月21日(土)～12月2日(月)

島根県立石見美術館

(島根県芸術文化センター「グラントワ」内)

『機動戦士ガンダム』のキャラクターデザイナー兼アニメーションディレクターであり、漫画家としても活躍する安彦良和の約50年にわたる歩みを紹介します。

アニメや漫画など特定のジャンルに注目した安彦良和の個展はこれまでも開催されてきましたが、青年期から現在までの多彩な分野の作品を取り上げたものとしては初めての、そして過去最大級の展覧会となります。

【みどころ】

[1] 膨大な数のイラストと漫画原稿で、比類ない画力を堪能!

1,000点以上にのぼる出品作品には、ポスターの原画や雑誌表紙を飾ったイラストなど、人の目を釘付けにする魅力的な絵がたくさん! 芸術的な美しさを放つ漫画原稿もたっぷりご覧いただけます。

[2] 制作過程がわかる! 初公開資料の数々

映画ポスターの下絵やキャラクター設定のラフなど、名作の数々が生まれた瞬間を伝えてくれる直筆資料が多数。今回が初公開となる貴重なものも含まれます。

[3] 魅力を深掘り! 多彩な関連プログラム

安彦良和監督作品の上映会や、安彦作品にも参加した島根県出身のメカデザイナー・山根公利氏との対談、安彦漫画の重要なテーマである歴史をめぐるトークなど、盛りだくさん! 詳細は決まり次第、グラントワホームページで発表します。

【同時開催】

特別展 **石見生まれのメカデザイナー・山根公利**

2024年9月14日(土)～12月2日(月)

島根県川本町生まれ、現在は浜田市在住のメカデザイナー、山根公利は、『カウボーイビバップ』『Gのレコンギスタ』『機動戦士ガンダムSEED』など多くの人気アニメに登場するメカのデザインを手がけてきました。安彦良和監督の『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』『機動戦士ガンダム ククルス・ドアン』にも参加しています。本展では、代表的なメカのデザイン画、約200点を展示し、メカデザインの仕事の面白さや、山根デザインの魅力を紹介します。



《ソードフィッシュII 2022》
『カウボーイビバップ』イラスト原画 2022年
© サンライズ



© 創通・サンライズ © 高千穂通&スタジオぬえ・サンライズ © サンライズ
© 安彦良和・THMS © 学研・松竹・バンダイ © 安彦良和/KADOKAWA



『さらば宇宙戦艦ヤマト』
ポスター原案
© 東北新社/著作権総監修 西崎彰司



『機動戦士ガンダム』(劇場版)
宣伝ポスター用イラスト原画 1981年
© 創通・サンライズ



『ジャンヌ』愛蔵版カバーイラスト原画 2002年
© 安彦良和



『ネオ・ヒーロイック・ファンタジア
アリオン』宣伝ポスター用イラスト原画 1986年
© 安彦良和・THMS



『ナムジ-大國主-』より
漫画原稿 1989年
© 安彦良和/KADOKAWA



『神武』口絵イラスト原画
1992年
© 安彦良和



『王道の狗』より 漫画原稿
2000年

【展示構成】

1章 北海道に生まれて

安彦良和は、幼い頃から絵を描くのが大好きな少年でした。中学時代のイラスト入りの学習ノート、大学時代の画などから、「描く人」の原点を探ります。

2章 動きを描く

『宇宙戦艦ヤマト』で一躍注目を集めた安彦は、様々な作品で生き生きとしたキャラクターを描きました。花形アニメーターとして活躍した時代を振り返ります。

3章 カリスマ・アニメーターの誕生

社会現象を巻き起こした人気作『機動戦士ガンダム』で安彦が果たした役割を、貴重な資料や迫力あるイラスト原画によって紹介します。

4章 アニメーターとして、漫画家として

監督を務めたアニメ『クラッシャージョウ』『ネオ・ヒーロイック・ファンタジア アリオン』『巨神ゴッグ』『ヴィナス戦記』のほか、漫画デビュー作『アリオン』、そして小説挿絵や自ら著した小説、実現しなかった企画まで、旺盛な創作意欲で駆け抜けた80年代を通覧します。

5章 歴史を描く

古代出雲を舞台とした『ナムジ-大國主-』『神武』、日本近代の戦争を描いた『虹色のトロツキー』『王道の狗』、キリスト教を主題とした『ジャンヌ』『イエス』など、ライフワークともいえる歴史漫画の数々を紹介します。

6章 安彦良和の現在

アニメ復帰作となった『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』、最新のアニメ『機動戦士ガンダム ククルス・ドアン』、完結したばかりの長編漫画『乾と巽-ザバイカル戦記-』から、今なお第一線で活躍する安彦が社会に向けたメッセージを読み解きます。

安彦 良和 Yasuhiko Yoshikazu



1947年、北海道遠軽町に開拓民の3世として生まれる。66年に弘前大学入学、学生運動に参加したことから除籍となり上京。79年『機動戦士ガンダム』でキャラクターデザインとアニメーションディレクターを担当。83年に映画『クラッシャージョウ』で初監督。テレビアニメでは83年放送の『巨神ゴッグ』で原作、監督を務める。一方、79年には『アリオン』で漫画家としてデビュー。89年以降は漫画に専念し『ナムジ-大國主-』『虹色のトロツキー』『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』などを発表。最新作『乾と巽-ザバイカル戦記-』が本年5月で完結した。

- 1990年 第1回日本漫画家協会賞優秀賞 (『ナムジ-大國主-』)
- 2000年 第4回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞 (『王道の狗』)
- 2012年 第43回星雲賞コミック部門 (『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』)
- 2021年 第44回日本アカデミー賞協会特別賞
- 2022年 令和4年度文化庁映画賞 (映画功労部門)
- 2024年 第7回井上靖記念文化賞特別賞

【開館時間】9:30～18:00 (入館は17:30まで) 【休館日】毎週火曜日

【観覧料】※()内は、20名以上の団体料金

[企画展] 一般:1,000(800)円、大学生:600(450)円、小中高生:300(250)円

[企画・特別・コレクション展セット] 一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生:300(250)円

[前売券] 一般:900円 (企画・特別・コレクション展セット)

主催:島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、毎日新聞社、BSS山陰放送

企画制作:MBSテレビ

企画協力:PONTOON

協力:アニメ特撮アーカイブ機構、潮出版社、NHK出版、科学映像館を支える会、Gakken、KADOKAWA、九月社、講談社、スタジオぬえ、創通、中央公論新社、東映、東北新社、バンダイナムコフィルムワークス、文藝春秋

後援:芸術文化とふれあう協議会

【問合せ】

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館

TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1884 Email grandtoit@cul-shimane.jp https://www.grandtoit.jp

担当:[広報] 中川・田原・上野 [学芸] 川西